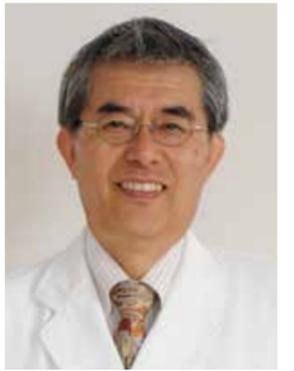




「目の前にいる患者さんを如何に治すか」は臨床医にとって永遠のテーマです。40年以上も前の話ですが、私が研修医として初めて担当した患者さんは骨系統疾患でした。稀な疾患で文献を調べても病態がよくわからず、治療法もない状況でした。大工仕事だけでは歯が立たない患者さんを目の前にして、医師として無力感を覚えました。その後、大学院に入学し「骨成長のメカニズムに関する研究」を始めることになりましたが、それが私のライフワークとなりました。人との出会い、特に医師にとっては患者さんとの出会いが人生を左右する場合があるということです。治せない病気を目の前にした時に文献を探り、有効な治療法が見つからない場合には自分で開発するしかない。気が付けば研究をしていた、というのが私の辿った道です。



病院長 安井 夏生

平成27年度の初期臨床研修は“多職種連携”で頑張ります

平成27年4月1日より、平成27年度の初期臨床研修が始まりました。今年度は1年次27名を新たに加入、2年次24名と合わせて全体で51名の大所帯となりました。今年度から研修医オリエンテーション(4月1日～4月10日)を大幅に改編し、研修医が病棟研修を円滑に行うために最低限必要とされる知識・技能を網羅すると共に、病院内の多くの職種の職員との交流を積極的に行う形で8日間の充実した日程で研修を行いました。具体的には昨年度まで初期研修医のみを対象として行われていた研修に、歯科医師・看護師・薬剤師・技師などの多職種の新人に参加していただくだけでなく、研修の講師としても多くの職種の方にご協力いただき、多職種で協力して研修を行いお互いのコミュニケーションの充実を図りました。詳細と致しましては、合同オリエンテーション・感染研修には全職種の新人に、安全管理研修・薬剤研修・コミュニケーション研修には初期研修医・研修歯科医・新人看護師に、接遇研修・感染防護研修・BLS研修には初期研修医・研修歯科医に参加していただきました。またオリエンテーション期間中の4月8日には、徳島大学病院主催の新人情報交換会(会場:ホテルクレメント徳島)が行われましたが、こちらも昨年度までの医師・看護師のみの歓迎会から、事務

職も含む全ての職種における新人職員を歓迎する会へと拡大され、総勢311名の大きな会となりました。その中には、さまざまなゲームを通して普段は直に触れ合うことのない部署の職員同士が積極的に交流を図ることができ、全員が満足し、盛会に終わりました。4月26日には、恒例の徳島県医師会主催の新人研修医歓迎のつどいが催され、病院内だけでなく、他の研修病院の研修医や指導医とも交流を図ることができました。

4月13日から、実際に各診療科における研修を開始しました。学生時代とはまったく異なる環境に戸惑うこともあり、いろいろと至らない面はあるかと思われそうですが、温かい目で研修医の成長をサポートしていただけますと幸いです。

また今年度も、研修医教育講座(昨年は9回施行)や当直スキルアップセミナー(昨年は9回施行)を開催いたしますが、今年度はこれらの会をさらに充実させ、医師のみならずさまざまなコメディカルの方々にもご協力いただき、研修医たちが実臨床で陥り易いミスなどに関して、さまざまな視点から集中的に学べる体制を構築していきたいと考えております。ご指導いただく講師の先生方には引き続きご協力をいただけますよう、よろしくお願い致します。



新人情報交換会(全職種)



コミュニケーション研修(初期研修医・研修歯科医・新人看護師)



手洗い実習・BLS実習(初期研修医・研修歯科医)



救急集中治療部・検査部オリエンテーリング(初期研修医)



新人研修医歓迎のつどい(徳島県内全初期研修医)

平成28年度 徳島大学病院 卒後臨床研修プログラム

徳島大学病院卒後臨床研修センターホームページ <http://www.tokudai-sotsugo.jp>

2016年 [平成28年]												2017年 [平成29年]												2018年 [平成30年]		
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
内科						救急			選択必修 (※1)		選択 (※2)	地域 (※3)	選択													
6ヶ月						3ヶ月			2ヶ月		1ヶ月	1ヶ月	11ヶ月													

(※)到達目標の達成に必要な研修科を選択

平成28年度の卒後臨床研修プログラム内容が決まりました。[AWAすだちプログラム][産婦人科研修プログラム][小児科研修プログラム]の3つの中から選択できます。昨年度から横断的研修プログラムとして、①脳卒中研修②感染研修③リハビリ研修④超音波研修が新たに始まり、病院の多職種連携のもと、研修がさらに充実してきております。各プログラムの詳細は徳島大学病院卒後臨床研修センターホームページをご覧ください。

パターン1 AWAすだちプログラム

徳島大学病院と全国の協力病院における研修が可能なプログラムです。どの病院でどれくらいの期間研修を行うかについても、研修医の希望に沿って柔軟に対応することが可能です。後期研修・専門研修への架け橋としての役割も担っています。全国の協力病院の詳細に関しては、徳島大学病院卒後臨床研修センターホームページをご覧ください。

パターン2 産婦人科研修プログラム

将来、産婦人科医を目指す研修医を対象とした、産婦人科医療に関して幅広く研修できるプログラムです。

パターン3 小児科研修プログラム

将来、小児科医を目指す研修医を対象に、高度先進医療から一般小児科、小児救急、新生児医療など幅広い小児医療について、専門的なレベルの研修が行えるプログラムです。

TOPICS

徳島大学病院“新”外来棟

平成27年9月に“新”外来棟が完成し、従来の外来棟から外来業務が移行されます。現在は、外装のみができていた段階ですが、“新”外来棟では、これまでは別棟にて行われていた歯科外来が新たに加わるだけでなく、採血・エコー・レントゲンなどの検査を行う中央診療棟とも隣同士の建物となります。検査時の患者さんの移動が楽になり、今までよりもはるかに利用しやすくなります。完成が待ち遠しいです。



全国に広がる
研修協力病院



徳島大学病院 卒後臨床研修プログラム説明会スケジュール

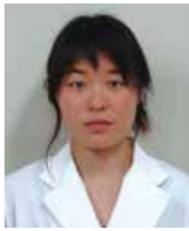
- 6月27日(土) 平成28年度 徳島大学病院卒後臨床研修プログラム説明会(徳島大学 大塚講堂)
- 7月5日(日) レジナビフェア 2015 in 大阪(インテックス大阪)
- 7月19日(日) レジナビフェア 2015 in 東京(東京ビッグサイト)

研修医紹介

1

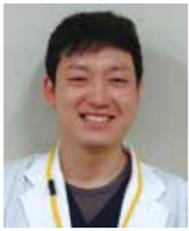
1年目研修医

有澤 麻美



初心忘れず、何事にも興味を持って、日々精進していけたらと思います。どうぞよろしく願いいたします。

梶田 敬介



毎日コツコツと、真摯に、全力で頑張ります。ご指導よろしくお願いたします。

加藤 悠人



少しずつできることを増やしていきたいと思っています。ご指導よろしくお願致します。

小山 広士



何事にも前向きに取り組み、少しでも多くのことを学びたいと思います。

佐藤 裕一



目の前のことをこなすのに精一杯ですが、しっかり患者さんと向き合える医師になれるよう研修していきます。

四宮 由貴



県外の大学を卒業し徳島に帰ってきました。一日一日を大切に、努力します。よろしくお願いたします。

曾我部 洋平



新人らしく何事にも積極的に全力で取り組みたいと思います。ご指導よろしくお願いたします。

高橋 拓



未熟なため回りの方々に助けをいただくことばかりですが、それに甘んじることなく、努力したいと思っています。

谷 彰浩



まだ始まったばかりでできないことばかりで戸惑っていますが、一つずつできるように頑張ります。

千田 大樹



研修2年間の経験を将来に活かせるよう、精一杯頑張ります。よろしくお願いたします。

中川 舞



牛歩の歩みではありますが、地道に努力して参りますので、何卒よろしくお願いたします。

中島 大生



医師になったことがゴールではなく、スタートだと思うので、患者さんのことを第一に考え、日々精進します。

中西 明奈



多くの先生方にお世話になっております。いつか自分が次世代のお世話をできるように、成長していきます。

西殿 圭祐



わからない事ばかりで戸惑う毎日ですが、日々成長していきたいと思っています。

布村 俊幸



DO HARD! DO SMART! 徳島のために一生懸命がんばります。よろしくお願いたします。

原 倫世



教えていただいたことを全て吸収できるよう、精一杯取り組みます。ご指導よろしくお願致します。

細井 美希



県外の大学から帰ってきました。地元徳島で多くの経験を積みたくと思います。ご指導よろしくお願いたします。

村上 貴寛



2年間の研修で勉強して、少しでも変わったと言われるよう努力していきたいと思っています。がんばります。

山上 圭



ついに踏み出した医師としての一步一步を踏みしめながら、日々精進していきたいと思っています。

山上 紘規



至らない点が多く、ご迷惑をおかけすると思いますが、よろしくお願致します。

山田 亮



徳島県出身、研修1年目の山田亮と申します。いろいろご迷惑をかけるとは思いますが、よろしくお願いたします。

行重 佐和香



日々の経験を大切に、有意義な研修ができるよう頑張ります。ご指導よろしくお願致します。

2

2年目研修医

阿河 弘和



いろいろご迷惑をおかけすることもあると思いますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願いたします。

宇都宮 聖也



昨年度は和歌山日赤で研修させていただきました。至らぬ点も多いとは思いますが何卒よろしくお願いたします。

岡田 祐輝



引き続き何事にも全力で取り組んでいきたいと思っています。よろしくお願いたします。

近藤 みほこ



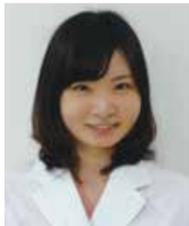
大学でしか学べない事をしっかりと勉強していきたいです。

鈴木 智子



いろいろご迷惑をおかけいたしますが、精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いたします。

富永 真由



すべての人との出会いを大切に、昨年よりもさらに大きく羽ばたけるよう頑張ります。よろしくお願いたします。

林 亜紀



2年目もさらなるレベルアップを目指し、頑張ります!! 引き続きご指導の程よろしくお願いたします。

松永 直樹



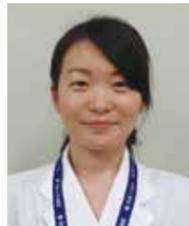
一年目の反省点を踏まえて、二年目はしっかり研修できるようにします。

湊 将典



去年の経験を活かして、今年も精一杯上を目指して邁進したいと思います。

森脇 由香



昨年は愛媛県にて研修し、徳大に戻ってきました。実りある研修にできるよう、精一杯頑張ります。

先輩からのメッセージ

初期研修を終えて

徳島大学病院 消化器内科 山本 聖子
(H25~H26年度 徳島大学病院 AWAすだちプログラムで研修)

私は近畿大学を卒業後、徳島大学病院卒後臨床研修センターで2年間お世話になりました。

この2年間で徳島大学病院、田岡病院、徳島県立中央病院とそれぞれ特色が違った病院で研修させていただきました。限られた研修期間の中で大学病院、市中病院などそれぞれの病院ならではの幅広い疾患を経験することができました。

また、尊敬できる指導医の先生、先輩、同期、後輩と出会うことができました。他大学出身ということもあり、慣れない環境での研修医生活のスタートでした。不安なことはたくさんありましたが、同期や先輩、卒後臨床研修センターの先生方や事務の方々のおかげで大学病院の雰囲気にもすぐ馴染むことができました。同期は例年に比べて少なかったのですが、その分仲が良く、頑張っている同期の姿をみて、明日からもまた頑張ろうと自分の励みにもなりました。

出身大学に残って研修することも考えましたが、地元である徳島に戻る選択をしました。徳島に戻るなら大学病院で研修すると漠然と決めて



いたというのが正直なところですが、この選択で間違っていなかったかなと2年間の研修を終えて改めて感じています。

現在、研修1年目の最初にお世話になった徳島大学病院消化器内科で働いています。まだまだ至らない点ばかりではありますが、研修中にお世話になった皆様とまたどこかで出会えた際には成長した姿を見ていただけるよう日々精進していきたいと思っています。研修医のみなさんは、楽しい2年間を過ごしてください。



卒後臨床研修センタースタッフ

編集後記

平成27年4月1日より、佐田政隆センター長(循環器内科科長)、西京子副センター長(脳神経外科講師)、飛梅威センター専任教員(循環器内科助教)、田中久美子センター専任教員(消化器内科助教)に加え、西野豪志教員(食道・乳腺・甲状腺外科助教)がセンター専任教員として加わりました。安全で充実した研修生活を送れるように、しっかりとサポートしてまいります。
■ニュースレターに関するご意見・ご要望など、お気軽にお寄せください。
bsotsugo@tokushima-u.ac.jp



徳島大学病院卒後臨床研修センター
Tel: 088-633-9359 Fax: 088-633-9358
E-mail: bsotsugo@tokushima-u.ac.jp
URL: http://www.tokudai-sotsugo.jp